

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 23日から24日は、日本付近は冬型の気圧配置となるが、24日は冬型の気圧配置は西から緩む。
- 24日から26日にかけて、高気圧が東シナ海から日本の南へ移動する。
- 26日は、オホーツク海に低気圧が進み、気圧の谷が北日本付近を通過する。
- 27日は、気圧の谷が東シナ海から西日本付近にのびる。

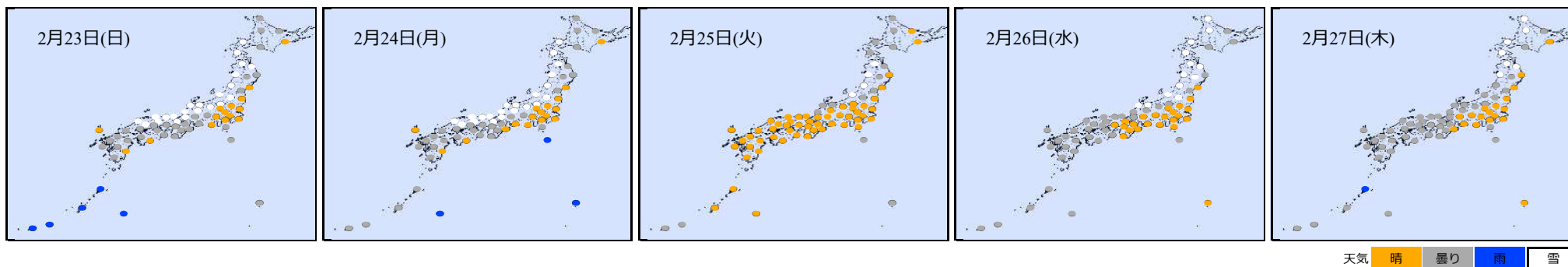
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 日本付近は24日頃にかけて冬型の気圧配置が続き、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に大雪となり、23日にかけては冬型の気圧配置の強まりや寒気の程度等によっては警報級の大雪となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

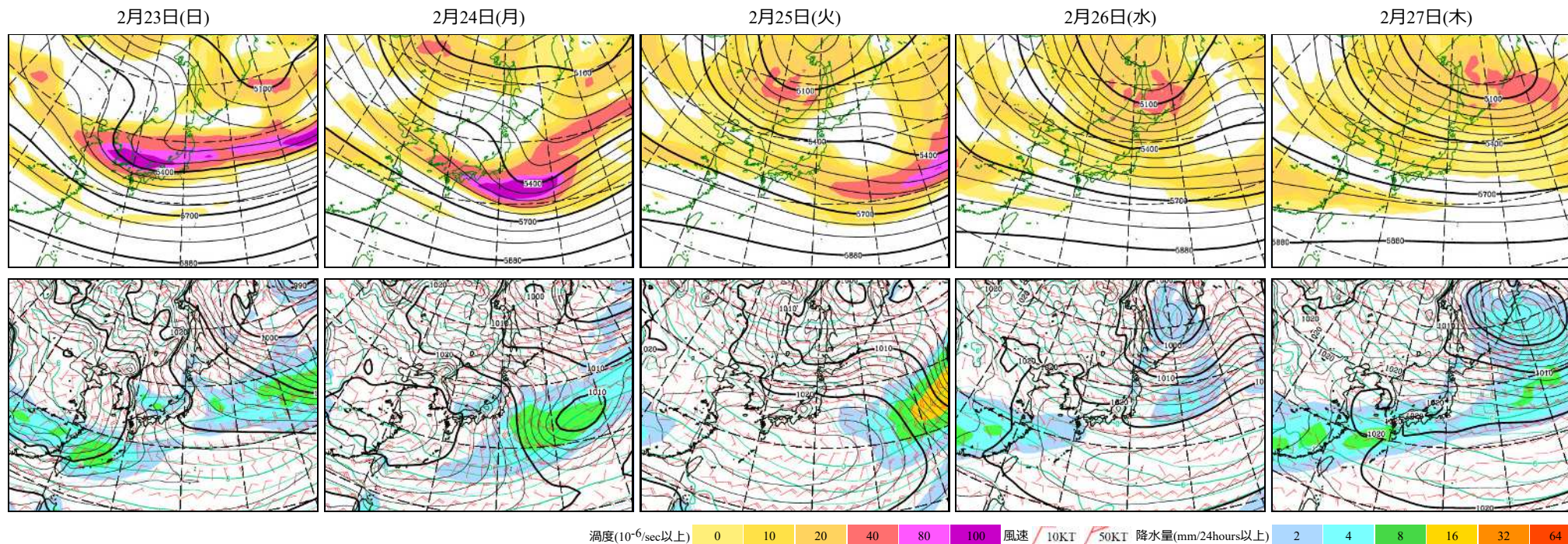
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

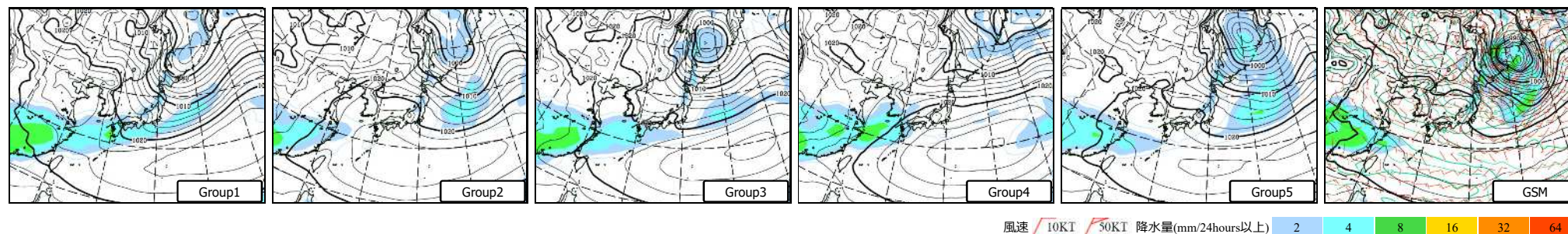


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雪または雨の降る日が多い。
- 東日本から西日本にかけての太平洋側は、晴れや曇りの日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多いが、25日は晴れる所もある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆2月26日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、24日頃に日本海に進むリッジが強まった。地上の気圧配置の予想は、大きな初期値変わりはない。
- ENSは、メンバーのばらつきが小さくなり、24日の予想が他のモデルに近い予想になった。25日から26日にかけて北日本を進むトラフは、ENSでは初期値変わりが小さいが、他のモデルはトラフが深まる予想になっている。
- モデル間の差は、昨日資料より小さくなった。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。